

変形性膝関節症の治療

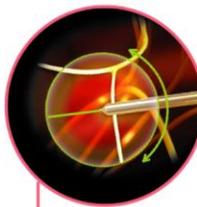
末梢神経ラジオ波焼灼療法

『Coolief(クーリーフ)治療』を導入しました

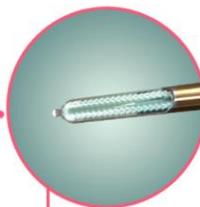
当院では、2024年9月より『変形性膝関節症』に伴う慢性疼痛治療の新たな選択肢として、Coolief疼痛管理用高周波システムによる『末梢神経ラジオ波焼灼療法』を導入し、保険診療として治療を開始いたしました。

Coolief疼痛管理用高周波システム

Cooliefによる膝関節症の治療とは、ラジオ波で膝周囲の神経に熱を与えて感覚を鈍くし、膝の痛みを軽減する治療です。



運動神経を避けつつ、ターゲットとなる知覚神経を広範囲に焼灼します。



プローブ先端を冷却することで先端電極の温度上昇を抑えます。

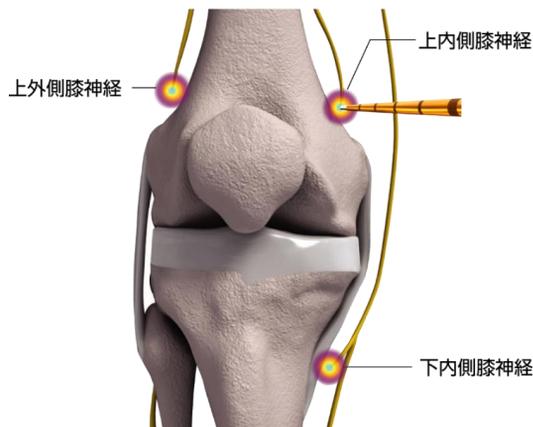


高周波焼灼前に、電極から微小な電流を流すことで運動神経を同定します。

膝の感覚の3つの神経を焼灼

超音波エコー下で右図の3つの膝神経をターゲットに、変形性膝関節症に伴う疼痛治療を行います。

※診断用神経ブロックも同様のターゲットに対して行います。



〈ターゲット〉

治療の対象について

Cooliefによる膝関節症の治療は保存療法と手術療法の間位置する治療法です。

人工関節などの手術を受けられない方、またはヒアルロン酸注射などの保存療法では疼痛が軽減しない患者さまが対象です。



Q Coolief治療とは何ですか？

A Coolief治療は、痛みを軽減するために末梢神経に対してラジオ波を用いる治療法です。ラジオ波は神経を温め、その伝達機能を一時的に遮断することで、痛みを軽減します。この治療法は、鎮痛剤、注射、リハビリ等で軽減しない慢性的な痛みを抱える患者さまに提案しております。

Q Coolief治療のメリットは何ですか？

A Coolief治療の大きなメリットは、施術時間が30分ほどで比較的短時間での治療が可能です。全身麻酔などは必要ありません。ほとんどの患者さまが治療後すぐに日常生活に戻ることができます。

Q Coolief治療の効果はどれくらい続きますか？

A Coolief治療の効果は個人差がありますが、神経が回復する1～2年は疼痛緩和効果が期待できます。治療後に痛みが再発した場合でも、追加の治療を受けることで再び症状を緩和できる場合があります。また、痛みを軽減させることはできますが、完全に無くすことはできません。

Q 入院は必要ですか？

A 当院では経過の観察とリハビリでの指導のため、最低でも1泊の入院で行っています。状況に応じて入院日数の調整も可能ですので、診察の際にご相談ください。